

日本万引防止システム協会 平成24年度通常総会
議案書

日時:平成 24 年 6 月 1 日(金) 開催

場所:アルカディア市ヶ谷 5 階 大雪

日本万引防止システム協会

日本万引防止システム協会平成24年度通常総会開催概要

- 日時 2012年6月1日(金) 14:00～(受付開始13:30)
- アルカディア市ヶ谷(私学会館)
第1・2部 5F大雪 第3部 5F穂高西
東京都千代田区九段北4-2-25 TEL 03-3261-9921

第1部 総会 (14:00～14:50) <5階大雪>

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 議長選出
4. 議案
第1号議案：平成23年度事業報告、収支決算の件
第2号議案：平成24年度組織・人事の件
第3号議案：平成24年度事業計画、収支予算の件
5. 閉会

第2部 講演会 (15:00～16:50) <5階大雪>

1. “こども心理学から見た万引の現状と、万引の起きにくい社会づくりに対する提言”

東京未来大学こども心理学 教授 出口 保行 様

2. “犯罪の起きにくい社会づくりに対する商店街の取組み”

全国商店街振興組合連合会 理事・最高顧問 桑島 俊彦 様

第3部 意見交換会 (17:00～18:30) <5階穂高西>

日本万引防止システム協会

<協会活動の主旨>

本会は、万引防止システムの産業的、社会的な役割を果たすために以下の活動を行う。

1. 万引防止システムの円滑な普及、発展に資する制度・政策・計画等を建議し、実行する。
2. 行政機関、関連団体あるいは生活者等の間での認識向上、相互の間の調整を行う。
3. 万引防止システムに関する内外の情報収集と提供を行い、業界の健全な発展と安全で豊かな国民生活に寄与することを目的とした活動を行う。

(第1号議案) 平成23年度事業報告、収支決算の件

1. 事業の概要

昨年6月開催の第10回総会に於いて、設立から9年間親しんできました「日本EAS 機器協議会」を「日本万引防止システム協会」に名称変更いたしました。万引犯罪防止の一層の推進にはEAS 機器関連だけでなく万引防止に関わるより多くの組織や企業が力を合わせる必要があると考え、名称を発展的に変更し、その主旨にご賛同いただいた防犯ミラーメーカー、警備会社、什器メーカー、ソフトウェア開発企業などの皆様にも新たに正会員として加盟いただきました。活動の一環として、昨年10月には、JEAS 講習会を開催し、万引防止システムの正しい知識を習得された43名の方に修了証を発行しました。

さて、ここ数年、都道府県単位の万引防止官民合同会議や万引防止協議会等の組織が立ち上がり、「万引は全件警察へ」の社会総ぐるみの運動が全国的に展開されています。当協会は3年目となる東京万引き防止官民合同会議に参加し、万引き防止のためのガイドラインやモデル店舗制度作り、責任者養成講座などに積極的に参画しております。

この9年間で全刑法犯認知件数は48.1%減少しましたが、逆に万引犯罪(商品窃盗)は増加の一途をたどり、平成23年度は全刑法犯認知件数の9.6%を占めるに至りました。平成12年度は4.6%でしたので、なんと2倍以上の占有率になりました。幸いなことに23年をみますと万引きの認知件数は前年比で4.6%減少しています。これは東日本大震災後「安全、安心」への意識が高まり、全件届出の徹底をはじめとした万引防止活動につながったのではないかと感じております。この新しい流れをきっかけに、万引きゼロを目ざして社会総ぐるみで取り組んでいく必要があると考えます。

<平成23年度活動の概要>

平成19年6月に北海道で始まった「万引全件届出宣言」が、平成21年11月には東京(警視庁)で開始され、平成22年10月には全国展開が開始され、昨年は各地で万引防止の動きが活発化し、万引防止のための研修会が頻繁に行われました。さらに平成23年4月1日に古物

営業法施行規則が改正され、リアル店舗での盗品買取が事実上できなくなりました。このような中で、日本万引防止システム協会は小売業の皆様の万引防止の直接の窓口とし警察関係の動きをサポートしてまいりました。

例年行っている「市場規模調査」は報告書を本日同封致しましたが、厳しい経済環境のなか会員各社が業績を回復しつつあります。万引防止システム業界の健全な発展とお客様に『「万引防止に関するソリューション団体」としての信頼を得るための、「EASステッカー」及び「EAS機器導入店表示POP」貼付けのお願い』のチラシ』を配布しました。

ハンドブック第3版の制作に関しましては、当初一部修正を予定しておりましたが、新旧会員の知識を再結集し、平成24年度に完成をめざすことに致しました。

2. 協会の活動報告

< 理事会 >

平成23年4月21日
平成23年6月13日(総会)
平成23年7月25日
平成23年9月26日
平成23年11月28日
平成24年1月24日
平成24年3月27日

< 運営委員会 >

平成23年4月21日
平成23年5月9日
平成23年7月25日
平成23年9月26日
平成23年11月28日
平成24年1月24日
平成24年3月27日

3. 各委員会活動報告

(1) ユーザー団体幹部との「万引犯罪防止対策会議」

東京万引き防止官民合同会議の実施内容

平成23年7月4日：第4回東京万引き防止官民合同会議

平成23年7月29日：第2回万引き追放SUMMERキャンペーン

平成23年9月12日：第2回万引防止のための防犯責任者養成講座

平成23年10月29日：もっと安全・ほっと安心・さわやかT o k y o !

平成23年12月12日：第5回東京万引き防止官民合同会議

※会議の中で山村会長がJEASの活動報告を行いました。

平成24年2月27日：「モデル店舗」認定制度の概要発表

平成24年3月6日：第3回万引防止のための防犯責任者養成講座

平成24年3月9日：セキュリティソリューションステージにて、パネル討論会

(2) ユーザー団体への出前講座

平成23年7月6日近畿管区警察局研修会 万引防止システムの説明 小原理事

(3) 政策・研究委員会

平成23年4月6日、5月26日、7月11日、平成24年3月27日

①「2011年度EAS機器の市場規模に関する調査」の実施（報告書同封）

②「2012年度EAS機器の実態調査」の検討。24年度にヒヤリング形式で実施

③ EAS 機器の保守契約に関する調査・研究、9月に保守案内をホームページにアップ

④RFIDに関する情報収集

平成23年4月12日 日本インフラセンターのRFID利活用ソリューション」デモ
モンストレーションを見学。丸善株式会社丸の内本店4階洋書売場

⑤生体電磁波環境に関する講演会の紹介

⑥EAS 機器の設置基準に関する調査・研究。JEAS 講習会の中に入れ込んだ。

⑦万引防止システムに関する資格制度の調査・研究

平成23年10月24日 JEAS 講習会 参加43名修了証発行

(4) ソースタギング準備委員会 (プロジェクト)

①平成23年4月 興和紡(株)のソースタギング支援

②平成23年5月 警視庁内ソースタギング勉強会

(5) 技術基準委員会 (プロジェクト)

①「EASステッカー」及び「EAS機器導入店表示POP」貼付けのお願い
の名称を変更し再配布。

②ペースメーカー等との干渉試験を実施。3社9機種、結果はすべて総務省の指針に合
致した。

(6) 総務委員会

平成23年9月6日、平成23年12月12日

① ユーザー様へのPR

・JEAS NEWS 16号 17号発行

・ホームページ更新の内製化、アクセス数前年比は上期171%・下期117%

・ダウンロードページを新設し、万引きに関する関係法令集などをアップ

・セキュリティ産業新聞に名刺広告 平成24年1月

<パブリシティ>

平成23年6月22日 日経MJ (流通新聞) 万引き防止システム、資格新設

平成23年7月10日セキュリティ産業新聞 通常総会講演の「神奈川県内の万引
犯罪の現状と防止対策」神奈川県警察本部少年育成課課長補佐 一條裕喜様

平成23年7月25日同新聞 通常総会講演「犯罪の起きにくい社会づくりに対す
るコンビニエンスストア業界の取り組み」日本小売業協会会長土方 清様

平成23年9月26日日経夕刊フォーカス欄 出来心防ぐ環境整備へ団結

平成23年10月5日経MJ (流通新聞) のアイコン欄「万引き防止」のインフラ

平成23年1月10日セキュリティ産業新聞「新生 JEAS の活動」

② 会員増強

再入会：(株)シグマ (平成23年度)

新入会：(株)キャトルプラン (平成23年度)

国際警備(株) (平成23年度)

コミー(株) (平成23年度)

(株)岡村製作所 (平成23年度)

九州日本電気ソフトウェア㈱ (平成 23 年度)

休 会：グンゼ㈱ (平成 24 年度)

休 会：㈱ジャストコーポレーション (平成 24 年度)

③ EASステッカー、EASPOPの配付

ステッカー：9,900枚 (前年 9,100枚) POP：400枚 (前年 1,300枚)
名称変更にともなう、在庫分の張替え作業の実施。

④ 24年1月26日「中学生の職場体験推進協議会」に総務委員長が参加した。

⑤ 特定非営利活動法人全国万引犯罪防止機構と連携を取った。

3つの小委員会 ・マイバック ・万引品の2次市場 ・店内確保ほか

(7) SECURITY SHOW 2012 ブース 担当：㈱チェックポイントジャパン

名刺数：2012年 56名 (1コマ)、2011年 66名 (3コマ)、2010年 22名 (1コマ)

3月8日セキュリティステージ JEAS発表 参加：約110名

(8) 運営委員会 メンバー：会長・各副会長・各委員長・佐藤顧問・事務局

EASステッカー貼付状況と解除器の管理の会員向けアンケートの実施

(9) 名城大学のステッカー貼付調査支援

平成23年11月9日第40回日本医療福祉設備学会 発表

(10) 名称変更にともなう各種の手続き

関係省庁・団体挨拶回り、パンフレットの改訂、ホームページの変更、封筒や印鑑

(11) 情報提供

警視庁顔認証システムに関する情報提供の要請対応 平成23年11月7日

4. 会員名簿

【正会員】

企業・団体名

アイデックコントロールズ(株)
ACTUNI(株)
(株)エスキューブ
エム・ケー・パビック(株)
㈱岡村製作所
(株)キャトルプラン
九州日本電気ソフトウェア㈱
グンゼ(株)
(株)コージン
国際警備(株)
コミー(株)
(株)ジーネット
(株) ジャストコーポレーション

企業・団体名

住友スリーエム(株)
西武産業(株)
高千穂交易(株)
タカヤ(株)
チェスコムアドバンス(株)
(株)チェックポイントシステムジャパン
(株)店舗プランニング
(株)トスカ
シグマ(株)
松尾産業(株)
(株)三宅
ユニチカ(株)
ユニパルス(株)

計 26 社

【賛助会員】

企業・団体名

セコム(株)

【特別会員】

企業・団体名

公益社団法人 日本防犯設備協会
一般社団法人 日本自動認識システム協会
NPO 法人 全国万引犯罪防止機構
タグ&パック事務局

※50 音順(平成 24 年 3 月 31 日現在)

5. 平成 23 年度収支報告

平成23年度(第十期)収支報告書案

平成24年3月31日

収入			支出		
	予算	実績		予算	実績
前期繰越額	4,442,012	4,442,012	1. 公益事業	4,608,025	5,399,944
1. 公益事業	3,900,000	6,247,000	(1)人件費	300,000	300,000
(1)会費収入	2,850,000	2,695,000	(2)家賃	326,025	298,857
正会員 20社	2,420,000	2,315,000	(3)事業活動費	3,382,000	4,245,557
賛助会員 1社	30,000	30,000	①旅費交通費	100,000	1,420
新規加入 4社	400,000	350,000	②通信費	220,000	229,559
(2)総会会費・新年会会費	0	0	③交際費	20,000	0
(3)ステッカー・POP売上	1,050,000	987,000	④会議費(会場費他)	400,000	31,290
(4)調査・研究受託事業(干渉試験)	0	2,565,000	⑤事務用消耗品	60,000	128,228
2. 収益事業	300,000	200,000	⑥運賃	70,000	97,948
(1)教育事業	300,000	200,000	⑦印刷費(ステッカー・リーフレット)	1,160,000	663,778
(2)出版事業	0	0	⑧宣伝広告費(HP・広報)	1,230,000	633,314
3. その他	2,500	3,304	⑨支払手数料	12,000	20,020
(1)受取利息	0	804	⑩租税公課	0	0
(2)雑収	2,500	2,500	⑪雑費(講演謝礼・予備費)	0	0
			⑫図書費	60,000	0
			⑬福利厚生費	0	0
			⑭会費	50,000	100,000
			⑮機器評価(干渉試験)		2,340,000
			(4)総会費用	600,000	555,530
			2. 収益事業	656,025	674,183
			(1)人件費	300,000	300,000
			(2)家賃	326,025	298,858
			(3)収益事業等の制作費	0	75,325
			(4)予備費	30,000	0
合計	8,644,512	10,892,316	合計	5,264,050	6,074,127
			次年度繰越残高	3,380,462	4,818,189
総計	8,644,512	10,892,316		8,644,512	10,892,316

監査報告書

平成23年4月1日から平成24年3月31日までの平成23年度における会計及び業務の監査を行ない次の通り報告する。

1. 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について理事会及び理事からの業務の報告を聴取し、合同委員会に出席し、監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見

平成23年4月1日から平成24年3月31日までの期間における当協議会の収支計算書類は適正かつ正確であり、指摘すべき事項は認められませんのでここにご報告申し上げます。

平成24年 6月 1日

日本万引防止システム協会

監事 那谷幸平 (那谷)

同 伊藤和賢 (伊藤)

(第2号議案)

平成24年度の組織、人事の件

会長、副会長、委員長、委員会委員に関して

1. 会長 山村秀彦氏
副会長 三宅正光氏、副会長 根塚眞太郎氏に平成24年度より任期2年で就任をお願いする。
2. 監事 那谷幸平氏、監事 伊藤和賢氏
政策・研究委員会委員長 希代清輔氏、総務委員会委員長 福井昂氏に平成24年度より任期2年で就任をお願いする。
3. アイデックコントロールズ株式会社 田和 久典氏に理事ならびに政策・研究委員会委員もお願いする。

以上の人事の発令は、平成24年6月1日とする。

以上により、平成24年度組織人事は以下のとおり変更になります。

(役職) (氏名)

再任役員(11名)

監事	伊藤 和賢(松尾産業株式会社)	
理事	小原 史郎(ACTUNI株式会社)	
理事	喜多 慎一(ユニパルス株式会社)	
理事	田丸 典億(タカヤ株式会社)	
理事	内藤 正美(チェスコムアドバンス株式会社)	
理事	根塚 眞太郎(株式会社チェックポイントシステムジャパン)	
理事	樋口 優平(西武産業株式会社)	
理事	福井 昂(株式会社エスキューブ)	
理事	三宅 正光(株式会社三宅)	
理事	山村 秀彦(高千穂交易株式会社)	
監事	那谷 幸平(株式会社ジーネット)	
理事	浅野 剛(住友スリーエム株式会社)	交代
理事	田和 久典(アイデックコントロールズ株式会社)	交代

(50音順)

委員会

1. 総務委員会

委員長：福井氏 委員：内藤氏、樋口（優）氏、田丸氏、四宮氏（交代）、事務局

2. 政策・研究委員会

委員長：希代氏 委員：小原氏、田和氏、喜多氏、浅野氏、佐久間氏、事務局

(順不同)

プロジェクト

1. ソースタギング準備委員会

委員長：三宅氏 委員：高野氏、高橋氏、佐藤氏、福井氏

2. 技術基準委員会

委員長：福井氏 委員：瀬澤氏、辻氏、多ヶ谷氏

3. 小委員会

①「JEASハンドブック第3版作成準備委員会」委員会

委員：田和氏、檜山氏、野村氏、雑賀氏、小早川氏、佐久間氏、飛永氏、田丸氏、内藤氏、事務局

②「EASステッカー及びEASPOPの貼付100%促進化委員会」委員会

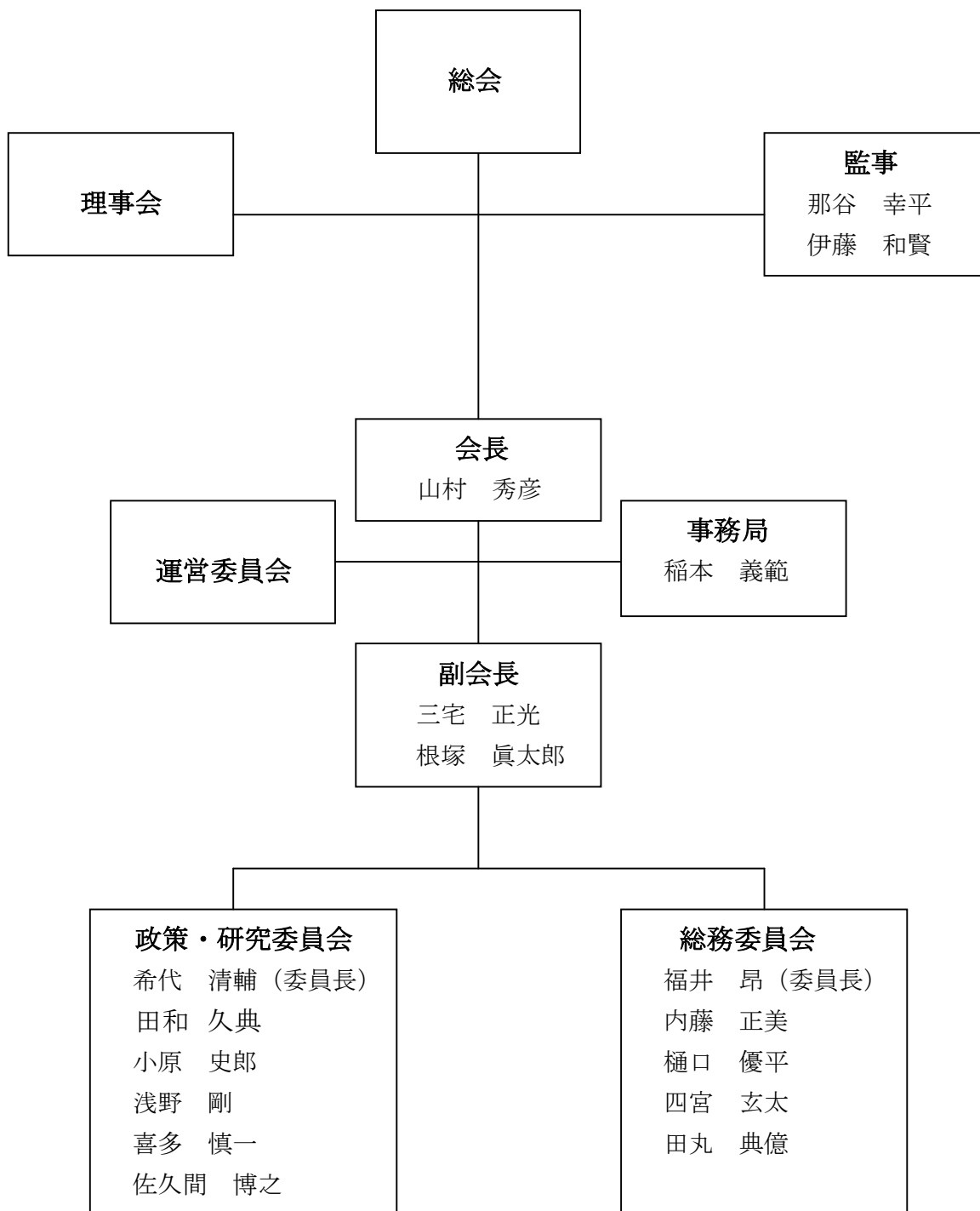
委員：瀬澤氏、辻氏、多ヶ谷氏、田丸氏、小早川氏、那谷氏、事務局

(順不同)

日本万引防止システム協会役職（案）

	No	組織	社名・団体名	役職名	氏名
理	1	会長	高千穂交易(株)	取締役会長	山村秀彦
	2	副会長	(株)三宅	代表取締役社長	三宅正光
	3	副会長	(株)チェックポイントシステム ジャパン	代表取締役社長	根塚眞太郎
	4	政策・研究委員会	ACTUNI (株)	代表取締役社長	小原史郎
	5	政策・研究委員会	ユニパルス(株)	営業本部ロジスティクス 営業部次長	喜多慎一
	6	政策・研究委員会	アイデックコントロールズ(株)	取締役 営業担当	田和 久典
	7	政策・研究委員会	住友スリーエム(株)	セキュリティおよびトレーサビリティ プロジェクト外部長	浅野 剛
	8	総務委員会	(株)エスキューブ	顧問	福井昂
	9	総務委員会	西武産業(株)	取締役営業部長	樋口優平
	10	総務委員会	チェスコムアドバンス(株)	常務取締役	内藤正美
	11	総務委員会	タカヤ(株)	事業開発本部RF事業部 営業部SS担当マネージャー	田丸典億
監 事		監 事	(株)ジーネット	セキュリティシステム部 マネージャー	那谷幸平
		監 事	松尾産業(株)	顧問	伊藤和賢

【平成 24 年度 日本万引防止システム協会組織図】（案）



(第3号議案) 平成24年度事業計画、収支予算の件

1. 事業計画

万引撲滅を通して犯罪の起きにくい社会の実現に向けてJEASの役割を果たそう!

日本万引防止システム協会は、万引犯罪撲滅を目指す唯一の民間団体として、「万引犯罪をさせないお店作り」の推進を通じて、地域社会の安全・安心を維持・向上させることこそ、「犯罪のない社会の実現」につながるとの信念の基、所轄官庁はじめ関連諸団体のご支援をいただきながら活動して参ります。

本年度、当協会では、引き続き万引犯罪の抑止・撲滅を推進する活動を以下の観点で強化していく所存です。

- 1) 日本万引防止システム協会の認知度UPのためユーザー団体様や関係機関との連携強化と会員増強
- 2) 万引防止システムの理解を深めていただくためのパンフレットやハンドブックの配布及び事業拡大・発展のための市場規模調査やお店の利用実態調査
- 3) 万引防止システムの知識向上のためのJEAS 研修会の開催と資格制度の準備
資格制度の内容については、万引防止システム全体の運用面に範囲を広げ、防犯機器関連企業の方々を広く受講者として募る方向で検討
- 4) 心臓ペースメーカーなどの医療機器を装着する皆さんに安心して買い物をしていただくためのEASステッカーやEAS POP の普及促進
- 5) ソースタキングの調査研究と関係業界への働きかけ
- 6) 機器の安定稼動のための保守の推進と解除器の盗品流通の防止活動
- 7) ユーザー情報収集と会員各社との情報共有の促進

<収入予算案>

前期繰越額	・・・	4,818,189	
1. 公益事業	・・・	4,435,000	
・会費収入	・・・	3,185,000	
正会員	・・・	2,705,000	24社
新規加入	・・・	480,000	7のランク6社の目標
・ステッカー・POP売上	・・・	1,250,000	新EASPOP効果で前年比126%の目標
・調査・研究受託事業（機器評価）	・・・	0	※3
2. 収益事業	・・・	100,000	
・教育事業	・・・	100,000	JEAS講習会25名参加の目標
3. その他	・・・	100,000	
・雑収	・・・	100,000	新ハンドブック100冊販売の目標

今期収入計	・ ・ ・ 4,635,000	(A)
収入計 (前期繰越金含む)	・ ・ ・ 9,453,189	

<支出予算案>

1. 公益事業	・ ・ ・ 4,653,625	
(1) 人件費	・ ・ ・ 300,000	
(2) 家賃	・ ・ ・ 326,025	
(3) 事業活動費	・ ・ ・ 3,369,600	
・ 旅費交通費	・ ・ ・ 30,000	新規会員の加入促進のため
・ 通信費	・ ・ ・ 225,000	回線使用料10万3千円、電話代9万6千円、切手代2万6千円
・ 交際費	・ ・ ・ 20,000	手土産代
・ 会議費 (会場費他)	・ ・ ・ 30,000	
・ 事務用消耗品	・ ・ ・ 130,000	コピー代9万円、トナー等4万円
・ 運賃	・ ・ ・ 100,000	ゆうメール便、宅配
・ 印刷費 (ステッカー・リーフレット)	・ ・ ・ 1,406,000	ステッカー・POP制作63万円とパンフレット5万6千円、市場規模調査と実態調査印刷12万円、ハンドブック印刷60万円※1
・ 宣伝広告費 (HP・広報・調査)	・ ・ ・ 1,348,600	18号19号会報17万5千円、HP更新5万円、新聞広告3万4千円、SECショー27万円、市場規模調査31万円、実態調査51万円※2
・ 支払手数料	・ ・ ・ 20,000	
・ 図書費	・ ・ ・ 60,000	セキュリティ産業新聞
・ 機器評価 (干涉試験)	・ ・ ・ 0	※3
(4) 総会費用	・ ・ ・ 658,000	会場費50万円、お車代15万円、ほか
2. 収益事業	・ ・ ・ 676,025	
(1) 人件費	・ ・ ・ 300,000	
(2) 家賃	・ ・ ・ 326,025	
(3) 収益事業等の制作費	・ ・ ・ 30,000	JEAS講習会経費 (東京開催)
(4) 予備費	・ ・ ・ 20,000	
合計	・ ・ ・ 5,329,650	(B)

<支出が多くなる理由として>

今期収入 (A) — 今期支出 (B) = ▲694,650 円

※ 1 「万引防止システム」用ハンドブックの編集と出版に関して、前回の改定が平成20年6月から4年ぶりの改定なる。今回はEAS機器・カメラ・ミラー・タグ・保

安警備等も包含した内容で作成中。

- ※ 2 「市場規模調査」と「万引きの実態調査」は「万引防止システム」としての見直しを行う。24年度は「市場規模調査」「万引きの実態調査」を実施するが、25年度までに、EAS関係以外の万引防止システム全体を包含した調査のやり方を調査し、25年度以降はこの2つの調査は隔年ごとに実施する。
- ※ 3 EASとペースメーカーの干渉試験に関しては現段階でニーズが無いため、下期に再度会員各社にニーズを確認することとする。

3. 平成 24 年度予算案

平成24年度(第十一期)予算案

収入			支出		
	(昨年度実績参考値)	予算		(昨年度実績参考値)	予算
前期繰越額	4,442,012	4,818,189	1. 公益事業	5,399,944	4,653,625
1. 公益事業	6,247,000	4,435,000	(1)人件費	300,000	300,000
(1)会費収入	2,695,000	3,185,000	(2)家賃	298,857	326,025
正会員 24社	2,315,000	2,705,000	(3)事業活動費	4,245,557	3,369,600
賛助会員 0社	30,000	0	①旅費交通費	1,420	30,000
新規加入 7のランク6社の目標	350,000	480,000	②通信費	229,559	225,000
(2)総会会費・新年会会費	0	0	③交際費	0	20,000
(3)ステッカー・POP売上	987,000	1,250,000	④会議費(会場費他)	31,290	30,000
(3)調査・研究受託事業 1件	2,565,000	0	⑤事務用消耗品	128,228	130,000
2. 収益事業	200,000	100,000	⑥運賃	97,948	100,000
(1)教育事業	200,000	100,000	⑦印刷費(ステッカー・リーフレット)	663,778	1,406,000
(2)出版事業	0	0	⑧宣伝広告費(HP・広報・調査)	633,314	1,348,600
3. その他	3,304	100,000	⑨支払手数料	20,020	20,000
(1)受取利息	804	0	⑩租税公課	0	0
(2)雑収	2,500	100,000	⑪雑費	0	0
			⑫図書費	0	60,000
			⑬福利厚生費	0	0
			⑭会費	100,000	0
			⑮機器評価(干渉試験)	2,340,000	0
			(4)総会費用	555,530	658,000
			2. 収益事業	674,183	676,025
			(1)人件費	300,000	300,000
			(2)家賃	298,858	326,025
			(3)収益事業等の制作費	75,325	30,000
			(4)予備費	0	20,000
合計	10,892,316	9,453,189	合計	6,074,127	5,329,650
			次年度繰越残高	4,818,189	4,123,539
総計	10,892,316	9,453,189		10,892,316	9,453,189